



# 8月 園だより

社会福祉法人雲柱社  
五日市保育園

7月も本当に暑かったですね。ここ数年、春も秋も暑くて、なんだか1年の半分くらいが夏になってしまったように感じてしまいます。園庭で遊ぶ子どもたちを強い日差しから守るように、プラタナスの木が心地よい木陰をつくってくれています。しっかり水分補給を心がけ、子どもたちと一緒に夏ならではの遊びを思い切り楽しみたいと思います。

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイ 5章9節)

6月に平和研修として沖縄を訪れました。6月23日は沖縄にとって「慰霊の日」であり、沖縄戦で亡くなった全ての人々を追悼し、平和を祈る日となっています。この日は沖縄県内の公的機関や学校が休日となり、県内各地で慰霊祭や追悼式典が行われます。新聞でもニュースでも追悼と平和を祈念する特集が組まれ、こどもから大人まで沖縄の人々の平和祈念の強い思いが伝わってきました。

沖縄戦では、疎開先の九州に向かうため、たくさん子どもたちを乗せた船(対馬丸)が潜水艦に攻撃されて 800人もの子どもたちが亡くなりました。対馬丸記念館の展示室 1階には犠牲となった子どもたちの遺影(写真)が壁一面に展示されています。なぜこの子たちは死ななくてはいけなかったのでしょうか。一体この子たちがどんな悪いことをしたのでしょうか。保育園にいるみんなと同じ、未来にたくさんの夢を持っていた尊い命がなぜ奪われなければならなかったのでしょうか。

「平和は守るものではなく作っていくもの」

「平和の最大の敵は無関心である。戦争の最大の友も無関心である。」

今年は戦後 80 年を迎える夏です。そして 8 月は終戦記念日など、平和について考える機会が多くあります。

今回、沖縄で実際に見て聞いて、改めて感じた戦争の悲惨さと恐ろしさを真摯に伝え、子どもたちと一緒に「平和」について考え、学んでいきたいと強く思いました。

ともだちと笑い合うこと、お家の人とご飯を食べること、安心して眠ること、許し合えること…神さまに守られている日常がどんなに幸せで平和であるかを改めて思います。しかし、世界では自分勝手な誤った正義や報復の連鎖から戦争がはじまり、今もたくさんの人々が不安の中で暮らしています。このことを他人事とは思わず、一人ひとりが平和に関心を持つことから平和は作られるのではないのでしょうか。

世界中の人々がお互いを大切にすることが出来たら、戦争は起こらないはずです。

みんなが戦争は嫌だと言ったら、戦争は起こらないはずです。

「お互いがお互いを思い、大切にし、平和をつないでいく心」が子どもたちの中に育ち、平和を作り出す人になりますように。そして世界中の子どもたちが見上げる空がいつまでも平和な美しい空でありますように。

(園長 関根富美子)

今を生きる君へ(平和の約束)

ぼくたちはどうして死ななくちゃいけないかったの？  
ぼくたちは何か悪いことをしたのかな。  
ぼくらのような思いをする子が、もう二度と出ないように、  
今、ぼくらに約束してほしいんだ、  
平和に生きるって。

きみがその「平和」を感じているとき、  
この地球にくらす、たくさんのほかの子たちは、  
「平和」を感じているかな。  
今でもまだ、世界では  
戦争で多くの子たちが悲しい思いをしているのかな。  
想像してみてください。  
今、僕らに約束してほしいんだ、  
きみが、平和な地球をつくるって。

(対馬丸記念館 展示資料より)

